

高校生&議会と語る会を開催



指宿市議会基本条例に基づき、指宿商業高校・指宿高校・山川高校と頴娃高校の4校の生徒を対象に、「議会と語る会」を7月19日（金）に指宿市議会議場で開催しました。

25人の生徒が参加し、観光、LGBTQ+、姉妹都市交流、JR等公共交通、文化財保護、災害時の施策などについて、さまざまな質問や意見があり、議員が答弁しましたので、主な問答を紹介します。

なお、このほかの問答や意見、アンケート結果につきましては、二次元コードからご覧いただけます。



指宿商業高校

薩摩今和泉駅付近の利便性・魅力の向上について



（質問） JR薩摩今和泉駅の一日当たりの乗降者数は780人おり、そのうち、指宿商業高校生の9割に当たる約420人が利用していますが、乗車券の券売機や駅付近にコンビニエンスストアがないという不便な状況です。

また、駅付近には「篤姫像」や「島津家の墓」、「田の神様」など、歴史的・文化的な見どころもあり、若者にとっても魅力あるまちになってほしいと思いますが、どのような施策を考えていますか。

（答弁） 市では、JRに対して、年に1回、商工会や観光協会、各高校等の意見を取りまとめて要望を出しております。これまで、各高校からは、「運行時間を部活の時間に合わせてほしい」、「運休になる場合は早めの情報が欲しい」といった意見がありましたが、券売機についての意見はありませんでしたので、市からJRへ要望を出すように働き掛けたいと思います。

また、市において「篤姫像」や「島津家の墓」、「田の神様」など文化的な方面からアプローチするように求めたいと考えています。

指宿高校

パートナーシップ宣誓制度の取り組みについて



(質問) 指宿市はLGBTQ+の当事者の権利を尊重するため、指宿市パートナーシップ宣誓制度を令和3年度から実施しています。県内では、幾つかの市で制度が取り入れられていますが、今後、さらに新たな取り組みを行う予定がありますか。

(答弁) 市では、「多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない人権尊重の社会づくり」の実現に向け、令和3年4月1日に県内で初となる「パートナーシップ宣誓制度」を導入し、その後、さまざまな自治体と連携協定を締結しています。

今後は、制度を拡充するため、「ファミリーシップ制度」の導入について検討を始めており、他自治体の事例等について調査研究を行っております。

山川高校

指宿駅から観光地までの移動手段の確保について



(質問) 指宿駅から観光地までの移動手段について、例えば自転車の貸出しやバスの運行はできないですか。

(答弁) 市では、「いぶりん」と称する自転車のレンタル事業を行っております。

現在、JR指宿駅構内にある総合観光案内所、ホテル・旅館7軒、えぶろんはうす池田、かいもん市場久太郎、開聞庁舎、かいもん山麓ふれあい公園の計12ヶ所で、40台の自転車の貸出しを行っています。令和5年度には、1,407件の利用があり、多くの人に利用していただきました。

その他の交通手段については、指宿市観光ビジョンの中で、「交通アクセスの改善・充実」を具体的な施策として掲げており、それに基づいて検討を行っております。

頴娃高校

指宿市のPRについて



(質問) 指宿市は37本のPR動画をユーチューブにアップしているほか、公式インスタグラムや公式LINEなどのSNSを介して、魅力向上やPRに努めています。今後、さらに魅力を発信し、観光に来てもらうためのPRをどのように進めていくと考えていますか。

また、指宿市はSNSを活用した収益化を検討する予定がありますか。

(答弁) 市では、SNSを活用し、オールドカーフェスタや山川みなど祭り、菜の花マラソン等、市で行われたイベントの様子のほか、池田湖や魚見岳の桜など、その時節の自然の様子や知林ヶ島へ渡る砂州の情報などを発信しています。今後は、インスタグラム等の専門家の指導をいただきながら、より見やすくなるように取り組むとのことです。

また、SNSを活用した収益については、現段階では検討していないとのことです。